

## 編集後記

今回の会誌はたくさんの方々にご執筆いただき、充実したものとなりました。ご協力ありがとうございました。これで2年の任期が終わりホッとしています。

2010年のお正月は職場の後輩と市民マラソン大会に参加しました。(と、いっても3\*ですが・・・) 学生の頃は運動大嫌いの私でしたが、走ってみると思わぬ爽快感! 体を壊さない程度にぼちぼち走っていいかなあと思います。

(岐阜・江口加奈)

### 編集部メンバー (順不同)

飯田 育子 (浜松)  
飯田 夏子 (名一)  
宮岡千代子 (名二)  
木下久美子 (高山)  
中辻きみ子 (長浜)  
乾 郁子 (大阪)  
上城 弥生 (高槻)  
鳥淵早希子 (和歌山)  
池田 和代 (京一)  
川野 真樹 (京二)

第16巻が皆さまのおかげで発行することができましたことを御礼申し上げます。

編集役員になり「2度目の発行」=「2年の任期終了」ということですが、関西ブロックが会誌発行担当に決定してもう2年。一時は存続も危ぶまれた会誌ですが無事に次の担当ブロックへと引き継ぎたいと思います。会員であることを改めて実感した貴重な2年間でした。ありがとうございました。

(姫路・岡本美春)

研究初心者の立場から「自分の使いやすい図書室を作ろう」と思いながら仕事を進め、4年が経とうとしています。しかし、先立つものは潤沢な予算配分。仕分けられないよう、魅力ある図書室作りに励んでいることをPRし続けたいと思っています。本号に原稿をお寄せいただき、形式知化して下さった執筆者の皆様、お疲れさまでした。

(山田・小林美香子)

管理棟の最上階(8階)に位置している当室の自慢は、窓からの眺めです。残念ながら琵琶湖方面には病棟が建っていて望むことはできませんが大津市街や、病院裏の山の景観が窓いっぱい広がっています。

春は街に点在する桜の木や、山の桜並木、風が吹くと舞い上がる桜吹雪、それが終わると柔らかな新緑がぐんぐんその緑を濃くしてゆき、

秋には銀杏の木の紅葉、

冬には少し寂しい色の山や、雪が降りしきる様子と

季節ごとに違った表情を楽しむことができます。

「図書室は一人で寂しくない?」とよく訊かれますが

日々変化する景観と全国の赤十字病院図書室の皆様の助けのお陰様で孤独を感じることなく、楽しく働かせていただいています。

お近くにお越しの際には、ぜひ当室の眺めを見にいらして下さい。

春と秋が特におすすめです。

(大津・深井鮎美)

## 日赤図書館雑誌

第16巻 第1号 (通巻21号) 平成22年3月1日 (年1回)

編集役員

江口 加奈 (岐阜赤十字病院図書室)

岡本 美春 (姫路赤十字病院図書室)

編集委員

関西ブロックメンバー

印刷所

カサイ製版株式会社

発行

日赤図書室協議会

事務局

前橋赤十字病院図書室

〒371-0014 群馬県前橋市朝日町三丁目21-36

TEL 027-224-4585 FAX 027-223-9307 (図書室)

日本赤十字社和歌山医療センター図書室

〒640-8558 和歌山県和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL 073-422-4171 FAX 073-421-8031 (図書室)

年会費

個人・機関: ¥4,500 定価: 一部 ¥1,000